

かみくげ 恐竜の里新聞

平成28年12月20日

発行…上久下恐竜の里づくり部会

第92号

上久下地域
自治協議会
0795 78 0001

丹波竜フエスタ開催される

丹波市と兵庫県立大学の主催による「丹波竜フエスタ2016」が、12月11日に山南住民センター周辺を会場にして開催されました。当日は小雨が降る寒い天候でしたが、市の内外から集まった恐竜フエスタの家族連れで賑いました。元氣村かみくげは化石発掘体験と、恐竜焼きを出張してイベントを盛上げました。午後からは「恐竜の生活を探る」をテーマにした基調講演が行われ、カナダから招いたダーラ博士が「獣脚類恐竜の生活を探る」、「世界中を飛び回る化石ハンター」小林博士が「アラスカの調査から探る北極圏恐竜の生活」、「カルガリー大学院の田中さんが「丹波発！恐竜卵のひみつ」、兵庫県立大学の三枝博士が「骨格3Dモデルから見た丹波竜の生態」を其々講演しました。会場のやまなみホールは300人の熱気に溢れ、子ども達からは専門家を悩ませるほどレベルの高い質問が続きました。

紅葉シーズン慧日寺大賑わい

太田の慧日寺では11月の紅葉シーズンに昨年を上回る2,300人超の観光客を迎えました。檀家有志による観光客のガイドも3年目となり案内にも慣れてきて、それぞれに個性あふれる説明で大好評でした。慧日寺への観光客は毎年増加していますが特に12日、13日の土日には両日で約300名が訪れ大変な賑わいとなりガイドも昼食をとれないような忙しい2日間でした。中旬の土日4日間は庫裏玄関前で餅つきなどを行い、その場で善哉に仕上げて振舞うなどの接待も喜ばれ、餅つきには観光客が飛び入りで参加するなど檀家の皆さんは観光客とのふれあいを大いに楽しんでい



ました。少子高齢化、地域の衰退が叫ばれる今日この頃ではありますが、あらためてこの地域はまだまだ大丈夫、元氣だとの意を強くした一ヶ月間でもありました。観光客からは慧日寺に対し「すばらしい」、「紅葉も美しいが茅葺きの屋根を維持されている努力に感動した」、「来年も必ず来ます」、「心が洗われる」、「京都まで行かなくてもここで十分満足できる」、「ガイドさんの案内が楽しかった」等々非常に好意的なお声をいただいております。12月10日にはボランティア約40名が参加しての反省会を行いました。が、来年に向けての改善点など活発な意見が多く出されました。これらの意見を参考に来年度は更に充実したシーズンにしたいと考えています。国の登録指定文化財となった当山を末永く維持継承していく責務をあらためて強く感じたところであります。最後になりましたが、明年が皆様にとって良いお年になるよう心よりお祈り申し上げます。（太田マコ）

石籠寺もみじ祭りに参加

村上茂会長も武者行列に

11月20日に行われた石籠寺もみじ祭りに上久下地域自治協議会の村上茂会長が参加し、武者行列の足利尊氏役で白馬に跨り主役を務めました。山南地区自治会長会の中で、各地域のイベントにはお互いに協力し合おうと意見が一致し、武者行列の主役として自治会長会山南代表の村上茂会長に白羽の矢が当たったのです。村上会長は「馬に乗るのは初体験。よく揺れるし落とされないように必死に掴まっていたけど、高い所から見る景色は最高だったと、感想を話していました。上久下の子も少年武者やお姫様に扮して参加し、楽しい一日を過ごしていました。」



ボランティアが友愛弁当作り

上久下ボランティアグループ(柳川瀬愛子代表は、11月24日に地域内の独居高齢者をバスで地域づくりセンターに招待してお昼の集いを開催しました。当日の参加者は17人でボランティアグループの手作り昼食を皆で頂いたあと、高齢者あんしんセンターのスタッフ指導のもとでいきいき百歳体操を賑やかに楽しんでもらいました。ボランティアグループのメンバーは、「日頃ひとりで過ごしがちな人達に、こうやって集まってもう一つは大変有意義なことだと思っ少しても力になれたらいいなと思って協力しています」と話していました。12月は地域づくりセンターの窓拭きもお世話になつて大変感謝しています。



老社会と小学生のしめ縄教室

上久下老社会(中西一郎会長)は、12月2日に小学校体育館で小学生との交流しめ縄教室を開催しました。稲藁を提供した前田晃さんが「今年は雨が多くて、使い易い餅米の藁が用意できなかった。コシヒカリの藁は少し硬いけど、頑張つて組んで下さい」と説明したあと、老社会メンバー22人が生徒に付き添って丁寧に指導し、4、6年生組は難しいメガネや玄関飾りを苦心しながら作り上げていきました。



元氣村かみくげ通信

元氣村かみくげで土・日曜・祝日に実施している化石発掘調査体験は、連日大勢の家族連れで賑わっています。昨年3月に恐竜広場が出来てから、特に来場者が増えてきています。平日でも自然学校のプログラムで阪神間の小学生を年間約100人受入れたり、丹波市内小学校6年生のふるさと教育の一環で、20人以上を受入れたりとしています。体験場所で見えられた化石の数はこれまでに約500点となり、人と自然の博物館の貴重な研究資料として活用されている状況です。発掘体験指導員は「発掘に使う原石を用意するのは重労働だけど、化石を見つけて喜ぶ子どもの顔を見るのが嬉しい。体力が持つ限り頑張りたい」と話しています。



テレビ放映のお知らせ

1月15日(日)午後7時30分からNHKの「ダーウィンが来た!」で、丹波竜を特集した内容が放映予定です。地域の皆さんぜひご覧下さい。

1月の予定

- ◆1月9日(祝) 新春賀詞交歓会 午前11時から
- ◆1月13日(金) 里づくり部会 午後7時30分から
- ◆1月14日(土) ふれあい映画会 午後7時30分から
- ◆1月18日(水) 自治会会長会 午後7時30分から
- ◆1月24日、31日(毎火曜日) 恐竜時計台のカフェ 午前10時から売切れまで